

個展タイトルについて：

今回の個展タイトルである「On Their Shoulders – 彼らの肩に乗ったつもりで、遠く
の多くを見たつもりで」は、“Standing on the shoulders of giants”（巨人の肩の上に
立つ）という有名な比喩表現を借りたものです。このことばは、私たちの仕事はすべて偉
大な先人たちの仕事の上に成り立っている、という意味だそうで、ニュートンが引用した
り、Google scholar の検索窓の下に表示されていたり、或いは著名なミュージシャンが
アルバムのタイトルにしたりしています。

巨人の肩にのったところで遠くを見渡せるかは別として、巨人の肩にのるのはとても楽
しそうなので、そして、のったつもりになるのも楽しそうなので、今回の展示のタイトル
を On Their Shoulders としたのです。

この“Standing on the shoulders of giants”という表現は、12世紀イングランドの思
想家である、ソールズベリーのジョンという人がシャルトルのベルナル（この人も中世の
思想家です）の言葉として記したのが最初とされているようなので、以下にその英訳を引
用します。

Bernard of Chartres used to compare us to [puny] dwarfs perched on the
shoulders of giants. He pointed out that we see more and farther than our
predecessors, not because we have keener vision or greater height, but
because we are lifted up and borne aloft on their gigantic stature.

(John of Salisbury, *The METALOGICON A Twelfth-Century Defense of the
Verbal and Logical Arts of the Trivium*, Daniel D. MacGarry, trans.,
Philadelphia, PAUL DRY BOOKS, 2009, p.167)

（シャルトルのバーナードは私たちを巨人の肩に腰掛けたちいさなドワーフにな
ぞらえ、私たちが先人たちより多くのことを、そしてより遠くをみるのは、私た
ちが彼らより鋭い視覚を持っているからでも、より大きな体をもっているからで
もなく、私たちが彼らの巨大な身体の上に持ち上げられ、その高みに置かれてい
るからなのだ、と言っていました。）

作品タイトルについて：

それぞれの作品タイトルは、私がこれまでに（おもに幼少期に）出会ってきた偉人たち
の作品との関係があるものが多いのですが、その関係の深さはまちまちです。はっきりと
意識しながら描いたものもあれば、後からさかのぼって結びつけ（こじつけ）たものもあ
ります。よろしければ別表（裏）をご覧ください。